

第1日 第1会場（多目的ホール） 14：10～15：10	
看護Ⅰ	座長 山形県立こども医療療育センター 看護部長 原 ゆかり
1-1-1	股関節外転装具（A ブレース）装着による踵に生じた問題 愛知県三河青い鳥医療療育センター 朝倉久見子（看護師）
1-1-2	胃瘻の必要性を再検討し胃瘻閉鎖に至った事例 金沢こども医療福祉センター 渡邊咲子（看護師）
1-1-3	胃瘻周囲のスキンケアの有効性～胃瘻周囲スキントラブルの改善をめざして～ 佐賀整肢学園こども発達医療センター 梶島朝子（看護師）
1-1-4	入院をきっかけに不安が高じた児への安心感を醸成し、 意欲や対人意識の広がりを促す支援の報告 社会福祉法人楡の会 武部裕子（看護師）
1-1-5	周術期の脳性麻痺児に対するキワニストールを用いたプレパレーションの効果 第2報 秋田県立医療療育センター 石井隆雄（看護師）
1-1-6	脊髄炎で両下肢麻痺になった思春期の児への関わり 一退院後に生活していくための不安に着目した支援を通して一 長崎県立こども医療福祉センター 中原麻美（看護師）

第1日 第1会場（多目的ホール） 15：15～16：15	
看護Ⅱ	座長 岩手県立療育センター 病棟師長 村野井 博子
1-1-7	医療型障害児入所施設でのコミュニケーション技術の新人指導 岩手県立療育センター 藤倉理恵（看護師）
1-1-8	創外固定器装着による家族の不安に対する支援 ～外泊の不安を軽減するパンフレット作成～ 広島県立障害者リハビリテーションセンター 山藤 恵（看護師）
1-1-9	感染管理ベストプラクティスを用いた排泄ケアの検討 ～手順遵守率を上げるための取り組み～ 愛徳医療福祉センター 田中洋輔（看護師）
1-1-10	医療型障害児入所施設における笑顔プロジェクトの取り組み 心身障害児総合医療療育センター 砂野 茜（看護師）
1-1-11	術前・術後オリエンテーションの改良 ～患者に合った効果的なオリエンテーションを目指して～ 福岡県こども療育センター新光園 山谷八千代（看護師）
1-1-12	先天性股関節脱臼の乳児に効果的なスピードトラック牽引について 熊本県こども総合療育センター 白川理恵（看護師）

第1日 第1会場（多目的ホール） 16：20～17：20		
看護Ⅲ	座長 千葉リハビリテーションセンター	看護部副部長 栗林 欣子
1-1-13	重症心身障害児の個別性を捉えたおむつの選定・当て方の検討 ～尿漏れの原因に視点をおいた4事例～ 宮崎県立こども療育センター	高瀬奈奈（看護師）
1-1-14	医療型障がい児入所施設における看護の実態 山形県立こども医療療育センター	高橋吉弘（看護師）
1-1-15	人工呼吸器を理解しやすい研修をするための研究 心身障害児総合医療療育センター	山崎卓磨（看護師）
1-1-16	術前検査を受ける子どもと保護者へのアプローチ 岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター	廣瀬貴子（看護師）
1-1-17	障がいのある乳児を養育する経済的困難な両親へのアプローチ～退所に向けての支援～ 愛媛県立子ども療育センター	小川由紀（看護師）
1-1-18	療育経験豊富な看護師が語る看護 北海道立子ども総合医療療育センター	石山 葵（看護師）

第1日 第2会場（展示ホール） 14:10～15:00	
理学療法Ⅰ	座長 旭川肢体不自由児総合療育センター 指導理療専門員 高木 亜紀
1-2-1	こどもの生活環境に焦点を当てた姿勢ケアプログラムの取り組み 旭川荘療育・医療センター 重本鈴歩（理学療法士）
1-2-2	足関節背屈制動機能付き短下肢装具にて歩容改善がみられた二分脊椎症患者の一例 沖縄南部療育医療センター 山田 知（理学療法士）
1-2-3	短期集中リハビリを行い歩行速度向上の見られた一例 大阪整肢学院 出口修平（理学療法士）
1-2-4	当院における発達障害の割合と理学療法介入の必要性について 同心会西条中央病院 沢田麻鈴（理学療法士）
1-2-5	ボツリヌス療法とポジショニングの併用により筋緊張が改善した重症児について 一筋緊張の継時的変化の評価に看護師による観察を用いた試み 北海道立子ども総合医療・療育センター 高島朋貴（理学療法士）

第1日 第2会場（展示ホール） 15:05～15:55	
理学療法Ⅱ	座長 宮城県立子ども病院 理学療法士 洞口 亮
1-2-6	障がいがある小学生のQOL意識調査について ～小学生版QOL尺度を活用して～ 愛媛県立子ども療育センター 水本憲枝（理学療法士）
1-2-7	体幹および殿筋へのアプローチにより歩行安定性が得られた低緊張児の一例 群馬整肢療護園 遠田美優（理学療法士）
1-2-8	西日本肢体不自由児ティーボール交歓大会に参加した選手と家族への意識調査 東部島根医療福祉センター 上山 薫（理学療法士）
1-2-9	チャレンジクラブの活動報告 ～思春期を迎えた肢体不自由児への自立に向けた取り組み～ 千葉リハビリテーションセンター 石田 純（理学療法士）
1-2-10	当センターにおけるITB療法の現状と課題 沖縄中部療育医療センター 平川貴子（理学療法士）

第1日 第2会場（展示ホール） 16：00～16：50	
支援・他Ⅰ	座長 千葉リハビリテーションセンター 療育支援部長 森戸 崇行
1-2-11	被虐待児への心のケアを通しての一考察 かがわ総合リハビリテーションセンター 岡田直（生活支援員）
1-2-12	重度脳性まひ児の表出表現から意思決定に繋げる試み 大阪発達総合療育センター 簗田彩希（介護福祉士）
1-2-13	里親委託へ向けての医療型障害児入所施設としての役割 ～通過施設での医療的ケア児を受け入れた一事例～ 旭川療育園 白石統久（児童指導員）
1-2-14	多職種が関わる外来家族支援グループ「あいあい広場」10年の経験から 東京都立多摩療育園 古寺久仁子（ソーシャルワーカー）
1-2-15	長期入園児の社会経験の拡大を目指して 広島県立障害者リハビリテーションセンター 藤岡聡司（支援員）

第1日 第2会場（展示ホール） 16：55～17：45	
支援・他Ⅱ	座長 秋田県立医療療育センター 臨床心理部門主査 荒川 祐介
1-2-16	北海道胆振東部地震における子どもの心のケア活動から 北海道立子ども総合医療・療育センター 宮内まや（公認心理士）
1-2-17	不穏を繰り返す児に対する構造化支援の取り組み 群馬整肢療護園 大山理美（生活支援員）
1-2-18	社会的養護を目的として入所する子どもの地域移行支援・退所後支援の現状と課題 愛知県青い鳥医療療育センター 坂井 恵（支援員）
1-2-19	児童の歩行支援への取り組み 旭川療育園 藤本裕介（児童指導員）
1-2-20	トイレに行こう 「トイレの排泄をめざして」 佐賀整肢学園こども発達医療センター 一番ヶ瀬房子（児童指導員）

第1日 第3会場（研修室1・2） 14：10～15：00	
作業療法Ⅰ	座長 秋田県立医療療育センター リハビリテーション部門主幹 渡辺 誠
1-3-1	就学後の両麻痺型脳性麻痺児の視覚認知に対する作業療法 ～「見る力を育てるビジョン・アセスメント—WAVES—」を用いて～ 秋田県立医療療育センター 伊藤彰子（作業療法士）
1-3-2	成人脳性麻痺者の仕事・セルフケア・余暇についての現状調査 ～身体的要因と本人の満足度調査より～ 静岡済生会療育センター令和 田中 好（作業療法士）
1-3-3	当センターにおける支援学校教員と療法士の連携の現状と今後について 愛徳医療福祉センター 泉浦文哉（作業療法士）
1-3-4	当センターにおける座位保持装置作製状況 福島県総合療育センター 土屋広子（作業療法士）
1-3-5	当園における発達障害のある子どもと保護者への就学支援 ～作業療法支援の経過から考えられること～ 大阪発達総合療育センター 中島るみ（作業療法士）

第1日 第3会場（研修室1・2） 15：05～15：55	
作業療法Ⅱ	座長 福島県総合療育センター 主任医療技師 土屋 広子
1-3-6	運動機能に障害のある小児を対象とした簡易上肢機能検査（STEF）の実施調査と その有用性について 心身障害児総合医療療育センター 兒玉妙子（作業療法士）
1-3-7	普通小学校に通う脳性麻痺児への作業療法士の介入 ～ご家族へのアンケートを基に～ 青森県立はまなす医療療育センター 盛合麻衣（作業療法士）
1-3-8	肢体不自由児の心身機能の向上や生活適応を目的とした短期間集中の単独リハビリテーシ ョン入院中における作業療法の役割—過去5年間の取組内容の分析から— 三重県立子ども心身発達医療センター 三好紫帆里（作業療法士）
1-3-9	まとまり食を導入した当園の摂食嚥下訓練 福岡県こども療育センター新光園 安留文子（作業療法士）
1-3-10	重症心身障害者施設における摂食嚥下障害に対する作業療法部門の取り組み 愛知県三河青い鳥医療療育センター 小島 好（作業療法士）

第1日 第3会場（研修室1・2） 16:00～16:50	
言語聴覚療法・他Ⅰ 座長 秋田県立医療療育センター リハビリテーション部門主幹 川上 公代	
1-3-11	QOLを大きく向上させた49,XXXXY症候群の歯科治療経験 愛知県三河青い鳥医療療育センター 大岩隆則（歯科医師）
1-3-12	脳性麻痺児・者における運動機能と食形態の関係について 秋田県立医療療育センター 萩原 薫（言語聴覚士）
1-3-13	岐阜県における小児言語聴覚療法の現状 ～アンケート調査から～ 岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター 田邊菜美（言語聴覚士）
1-3-14	摂食中に窒息を起こした最重度知的障害児に対するアプローチ ～まとめりペースト食の導入～ 三重県立子ども心身発達医療センター 松本美沙（言語聴覚士）
1-3-15	I型糖尿病、出血性脳梗塞を発症した児の摂食嚥下機能の変化について 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター 三歩一枝里子（言語聴覚士）

第1日 第3会場（研修室1・2） 16:55～17:35	
言語聴覚療法Ⅱ 座長 秋田県立医療療育センター リハビリテーション部門主査 萩原 薫	
1-3-16	前言語期における保育場面を活用したアプローチの検討 沖縄中部療育医療センター 宮城千裕（言語聴覚士）
1-3-17	言語及び発話面に対する言語聴覚療法によりコミュニケーション手段に 著しい変化を認めた一症例 別府発達医療センター 丸尾萌水（言語聴覚士）
1-3-18	チームで「楽しく美味しく安全に食事をする」を実現するための取り組み 大阪発達総合療育センター 下平花菜（言語聴覚士）
1-3-19	県内全域でできる小児リハビリテーション体制を目指して ～宮崎県における小児リハビリテーション研修事業の13年間～ 宮崎県立こども療育センター 山下晃功（言語聴覚士）